

エコチルひょうご通信



詳細調査について



既に本通信5月号でもお知らせしておりますとおり、エコチル調査の全体調査に加えて、本年10月から「詳細調査」が開始されます。

詳細調査は、エコチル調査に参加されている方のうち、2013年4月以降に出生したお子さんから、無作為に選ばれた約5,000人を対象に行なう予定です(兵庫ユニットセンターにおける詳細調査の対象者数は約260名)。

調査の主な内容は以下の通りです。

①居住環境や生活環境についての訪問調査

お子さんが1歳6か月、3歳の時にご家庭を訪問して、ハウスダストの採取、屋内と屋外の空気の採取、温度・湿度の測定等を行います。



②医学的検査

お子さんが2歳、4歳の時に、身長・体重等の身体計測、脈拍数・呼吸数・血圧・体温等の測定、医師による診察、血液検査(アレルギー、甲状腺ホルモン、ビタミンD等の測定)を行います。



③精神神経発達検査

お子さんが2歳、4歳の時に、医学的検査と同時に行う予定です。

現時点では6歳までに行う内容のみ決まっていますが、6歳以降にも同様の調査が行われる予定です。

これらは、全体調査だけでは参加者全員に対しての実施することが困難な調査ですが、一部の参加者を対象に行うことで、より客観的な評価を行うことが可能になります。

詳細調査の計画は、本年6月3日に開催された兵庫医科大学倫理委員会で審査され、承認されました。現在、コアセンターと連携して、スタッフ研修等の準備を進めております。



追加調査(環境測定)終了しました



先にもお知らせしておりました追加調査における環境測定調査は、この7月に無事終了致しました。

今回は、55世帯の方にご協力をお願いしましたが、その他にも多数の方にご賛同して下さいました。

この調査により、大気汚染物質が妊娠中及びお子様の健康に与える影響を明らかにし、今後の大気汚染対策の一助になるよう、結果の分析を行ってまいります。



参加者様の声



今年の春ご出産をされ、参加者向け通信に掲載された「参加者様の声」を一部紹介いたします。

いつもエコチルにご協力頂いている医療機関関係者様方はなかなか聞くことの出来ない、参加者様のエコチル調査に参加して下さった思いが伝われば幸いです。

コーディネーター 溝上由美子



M. Tさん (兵庫医科大学病院の参加者)

私は結節性動脈周囲炎という難病で、それに伴う筋力の低下や右目の障害等があり兵庫医科大学病院で沢山の先生方にお世話になっています。

幼い頃から出産願望が強かった私にとって9年程前に受けた確定診断は絶望的なものでしたが、病気に負けない何か希望を!と思いが募り治療を続けながら病状をなんとか安定させ、今回の妊娠・出産にいたりました。

大木に沢山の花をつけ、観る人の心を暖かく笑顔にしてくれる、人から愛される桜の様に育って欲しいと思い「桜子」と名付けました。桜子は私たち家族にとって大きな希望になりました。

今回の妊娠前からエコチル調査に興味があって、妊娠が判った時すぐにエコチルに参加しました。PM2.5等の環境問題や食生活の多様化が子供が成長していく将来にどう影響していくのかの調査に参加する意味はとても大きいと思いますし、調査結果を判り次第教えてもらえるのはとても助かっています。(以下略)



リクルートの進捗状況 (H26.7.15時点)

母親	父親
累計(兵庫) 5,189 人	累計(兵庫) 1,887 人
累計(全国) 103,103 人	累計(全国) 50,280 人

子どもの登録数	
兵庫 4,365 人	全国 84,957 人

2014
7.15

【編集・発行】兵庫医科大学 エコチル調査兵庫ユニットセンター

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号 ☎0120-456-019

MAIL: ecochild@hyo-med.ac.jp URL: http://www.ecochil-hyogo.jp/

